iDeCo加入者用アプリ　D-Canvas

D-CanvasでiDeCoをより身近に！

「D-Canvas」は、生体認証で、いつでもどこでも**資産残高の確認**や**運用商品の変更**ができる加入者専用アプリです。運用に不慣れな方向けの商品選択サポート機能も実装しています。

D-Canvas

ダウンロードはこちら（無料）

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

生体認証で「カンタン」ログイン

いつでも、どこでも
パスワードなしでログインできる



あなたのDC残高を「カンタン」チェック

資産の"いま"と"これから"を
確認できる



アプリのサポート機能で「カンタン」運用

あなたにあった
運用タイプを提案



商品購入・変更も「カンタン」操作

いつでも、どこでも
運用の商品が変更できる



※画像はイメージです。　※DC残高とは確定拠出年金(DC)の残高を指します。
※「Android」「Google Play」は、Google LLCの商標または登録商標です。
※「iPhone」「App Store」は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。

本資料のご利用にあたって

■本資料は確定拠出年金運営管理機関としてお客さまへの情報提供のみを目的としたもので、運用の方法に係る「助言」や「推奨」等を行うことはありません。個人型確定拠出年金(iDeCo)への加入申出や掛金を運用する商品の選択に関しては、すべてお客さま自身でご判断ください。
■掲載した見解等は本資料作成時における判断であり、予告なしに内容を変更することがありますので、予めご了承ください。
■本資料に記載いたしました法務上、税務上、および会計上の処理方法等は確約させていただくものではありません。各処理方法等につきましては、専門家にご確認ください。
■本資料は確定拠出年金運営管理機関である株式会社三菱UFJ銀行が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更することがありますのでご了承ください。
■投資信託は国内外の株式や公社債等値動きのある資産を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資単位あたりの価値が変動します。したがってお客さまの投資された金額を下回ることもあります。また、投資信託は商品ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。
■投資信託は預金ではなく、その基準価額は、組入れ有価証券(株式・債券等)の値動きにより変動しますので、受取金額が投資元本を下回る場合があります。
■投資信託の運用管理費用(信託報酬・管理報酬等)・信託財産留保額等の手数料等は商品ごとに異なるため、具体的な金額計算方法を記載することができません。
■本資料を無断で引用または複写転用等をすることはお控えください。
■iDeCoの加入・移換にあたっては、国民年金基金連合会等への初回および月額の手数料がかかります。

当行が契約している指定紛争解決機関　一般社団法人 全国銀行協会 全国銀行協会相談室 0570-017109／03-5252-3772 月～金曜日9:00～17:00（祝日・12／31～1／3等を除く）

VEGETABLE OIL INK

ミックス FSC www.fsc.org 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C020220

iDeCo（個人型確定拠出年金）の制度・手続き等に関するお問い合わせは

MUFG 個人型コールセンター
0120-138-401
つながらない場合には **03-5302-8252**（通話料はお客さま負担）
受付時間／平日 9:00～18:00　土曜日 9:00～17:00
日曜日・祝日・12/31～1/3等 ご利用いただけません。

2026年3月5日現在

MUFGのiDeCo

［個人型確定拠出年金］



運用商品一覧

MUFG　三菱UFJ銀行

STEP1　運用商品や商品選びの　ポイントを理解しましょう



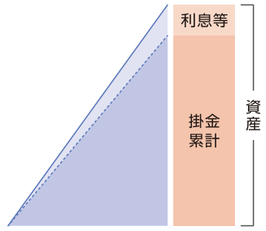
元本確保型商品と投資信託

●iDeCoの運用商品には、資産を「まもる」ための『元本確保型商品』と「ふやす」ための『投資信託』が用意されています。

「まもる」ための運用商品

元本を確保

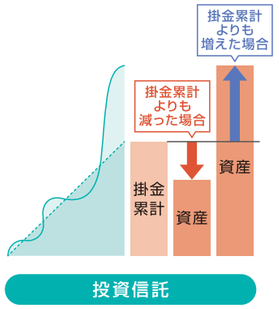
- 元本（元手となる資金）に一定の利息がつく運用商品です。
- 満期まで保有した場合は、元本が目減りすることはありませんが、それほど高い収益も期待できません。



「ふやす」ための運用商品

元本の変動がある

- リスク（値動きのブレ幅）のある資産や金融商品で運用します。
- 運用成果によって資産が増えることもあれば、減ることもありますが、高い収益をめざします。



大きく8種類に分類される投資信託

●投資対象となる資産の種類や投資対象の国・地域によって、投資信託は大きく8種類に分類されます。
●種類の異なる投資信託を組み合わせることもできますが、運用が初めての方やお任せしたい方なら幅広い資産や地域に分散して投資を行うバランス型を利用する方法もあります。

国内株式
配当金や株価の変動、世界各国の景気動向等により、基準価額が影響を受ける

国内リート
不動産の賃貸・売買市場や金利の変動、世界各国の景気動向等により、基準価額が影響を受ける

国内債券
利息収入や債券価格の変動、中央銀行の金融政策等により、基準価額が影響を受ける

バランス型
国内外の債券や株式等幅広い資産や地域への分散投資を自動で行う

ターゲットイヤー型
ターゲットイヤー（退職時期等）に向け、年齢を重ねるごとにリスク資産を減らし、安全資産中心の運用を自動で行う

資産配分固定型
株式や債券等の比率をあらかじめ固定しているファンド

海外株式
国内株式の特徴に加え、外国為替相場の影響を受ける

海外リート
国内リートの特徴に加え、外国為替相場の影響を受ける

海外債券
国内債券の特徴に加え、外国為替相場の影響を受ける

その他　上記以外の特定の資産（金など）を中心に投資

※上記は、イメージ図であり、iDeCoすべてを網羅しているわけではありません。

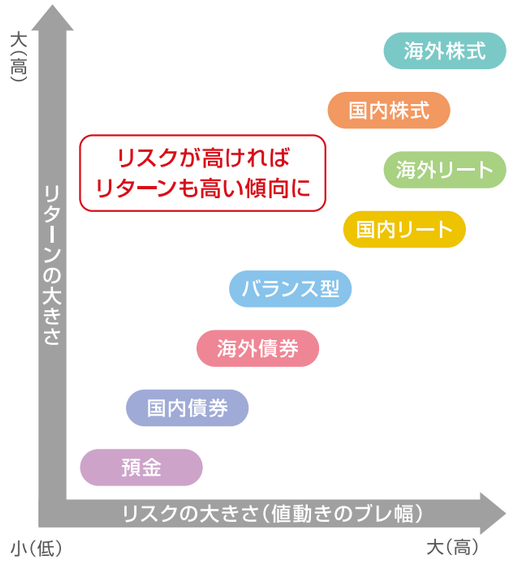
運用商品の決め方

●「リターン（収益）」を追及するだけでなく、「リスク（値動きのブレ幅）」を正しく知ることが大切です。
●自分が許容できるリスクの範囲を理解し、バランスを考えて運用商品を選ぶことが、長く運用を続けるコツです。

リスク許容度の確認



主な商品カテゴリーごとのリスク・リターンのイメージ

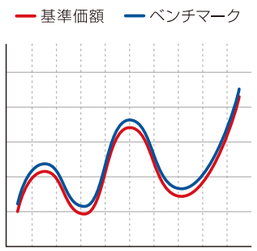


投資信託の2つの運用タイプ

●運用の目標とする指標（ベンチマーク）を定め、その指標と同じ成果をめざす『パッシブ運用』と、その指標を上回る成果をめざす『アクティブ運用』があります。

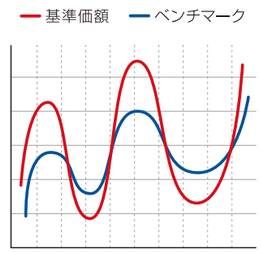
パッシブ型

- ベンチマーク（日経平均株価やNYダウなどを目標とする指標）を定め、その指標と連動することをめざします。
- 主にコストによって運用に差がつきます。



アクティブ型

- 運用会社が独自の企業調査や分析に基づき、銘柄を選び、ベンチマークを上回ることをめざします。
- 主に銘柄選択や売買タイミングによって運用に差がつきます。



どちらの運用タイプも運用成果は保証されません。
また、アクティブ型の運用成果が必ずしもパッシブ型を上回るわけではありません。

※上記は、イメージ図であり、iDeCoすべてを網羅しているわけではありません。

STEP2　ご自身の運用　スタイルを確認しましょう



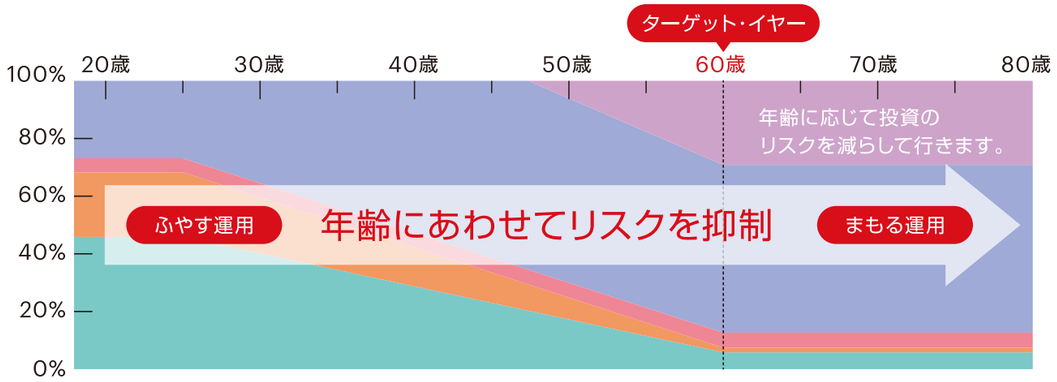
運用をすべてお任せしたい方

年齢に合わせて中身が変化

ターゲットイヤー型の特徴

- 設定した目標年（退職時期など）に合わせ、時間の経過とともに資産配分が自動で変わります。
- 最初は「ふやす」を重視し、目標が近づくと徐々に「まもる」へ自動で切り替わります。

こんな人におススメ　●見直しが面倒な方　●運用のプロにお任せしたい方



※上記は基本資産配分の推移（イメージ）の理解を深めていただくため、一般的な定年退職時期である60歳を迎える年次を「ターゲット・イヤー」と仮定していますが、あくまで一例であり、全ての場合にあてはまるわけではありません。
※各ファンドの当初設定時に計画された基本資産配分の推移（イメージ）であり、市場動向等によって組入比率が変更される場合があります。

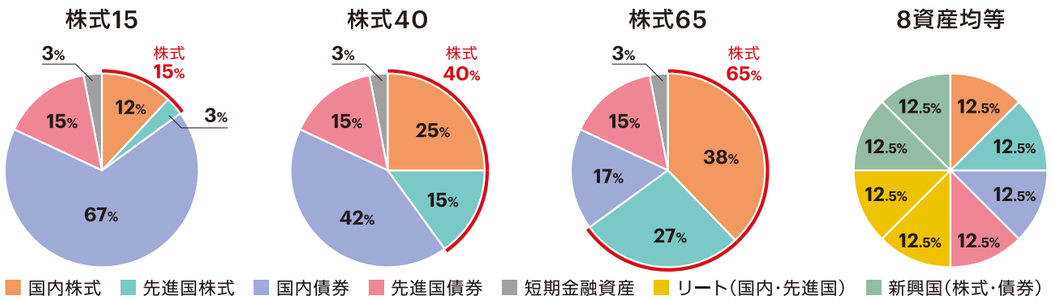
ずっと同じ比率で運用

資産配分固定型の特徴

- 基本となる資産配分（例：株式15　株式15%・債券82%・短期金融資産3%）は変更しません。
- 相場変動でズレてしまった比率を、元の比率に戻す調整（リバランス）のみを行います。

こんな人におすすめ　●自分でリスクのレベルを選んで管理したい方

小　←　リスク　→　大



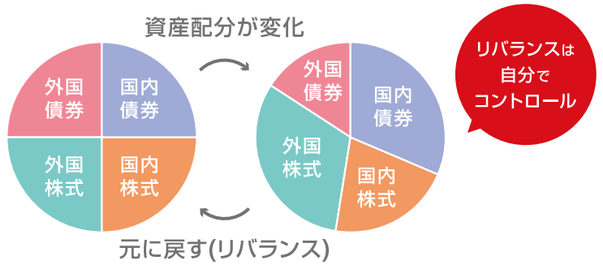
※各ファンドの基本資産配分です。市場動向等によって組入比率が変更される場合があります。

自分で商品を選びたい方

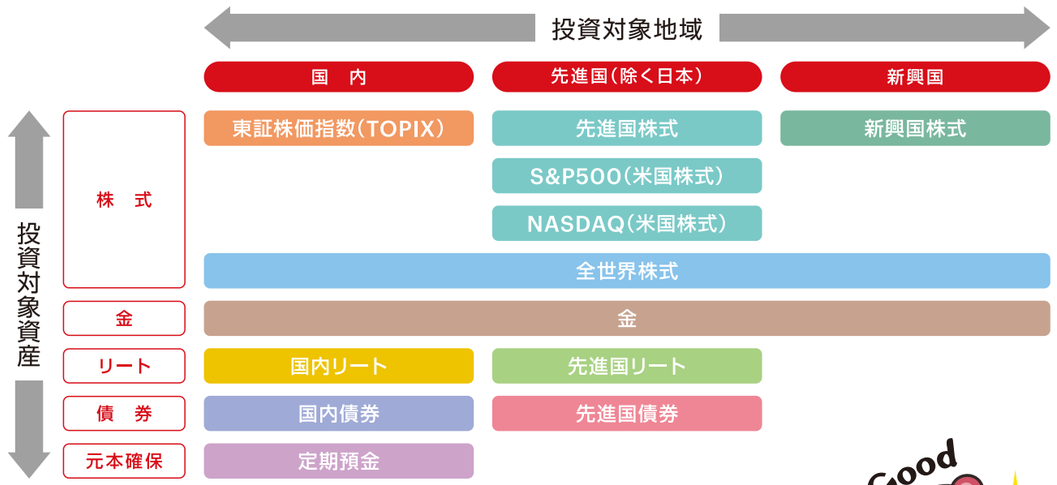
自分好みにアレンジ

投資対象の資産・地域を確認し、商品を選択

- 単体商品を自由に組み合わせができます。
- 「国内債券」や「外国株式」など、特定の資産だけを選べます。
- 市場の動きを見ながら、商品や比率を自由に変更できます。
- 自分の判断（リスク許容度）に合わせて積極的な運用を組み立てられます。



こんな人におススメ　●投資の知識がある方　●特定の資産に絞って投資したい方



eMAXIS Slimシリーズの特徴



eMAXISシリーズのオリジナルキャラクター

コストを抑えた初心者にも選びやすく、分かりやすさに配慮した商品構成。



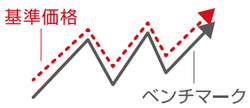
業界最低水準の運用コスト*

将来にわたって業界最低水準の運用コストをめざし続けます。
(*)その達成を保証等するものではありません。



幅広いラインアップ

国内株式・先進国株式・債券・リートまで網羅。多様な選択肢から、あなたに最適な資産を選べます。



パッシブ運用

市場の値動きを示す指数（インデックス）を基準（ベンチマーク）として、その指数に連動した投資を行います。

STEP3
運用商品を選びましょう

※運用商品は自由に組み合わせることが可能です。

運用商品一覧の見方

くわしくは
こちら

❶ 商品分類
投資対象資産や
投資対象地域の区分です。

❷ 運用スタイル
パッシブ：ベンチマーク（目標とする指標）に連動する運用成果をめざします。
アクティブ：ベンチマークを上回る運用成果をめざします。

❸ 運用商品名
預金や投資信託の
商品名です。

❹ 運用会社名
商品を管理・運用する
会社名です。

❺ 信託報酬
投資信託の運用・管理にかかる費用で、投資信託を保有している期間は運用会社等に支払います。費用は、信託財産の中から差し引かれます。
※信託財産留保額：取り扱いの全ての投資信託でありません。

	商品コード	商品分類	運用スタイル	運用商品名	運用会社名	信託報酬（税込）	地域	商品の特徴
運用をすべてお任せしたい方	01578	ターゲットイヤー（バランス）	パッシブ	三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.308%	グローバル	元本確保型以外（投資信託）*3
	01833		パッシブ	三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）		年率0.374%	グローバル	
	01579		パッシブ	三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）		年率0.374%	グローバル	
	01834		パッシブ	三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）		年率0.396%	グローバル	
	01580		パッシブ	三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）		年率0.396%	グローバル	
	01835		パッシブ	三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）		年率0.396%	グローバル	
	01913		パッシブ	三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）		年率0.396%	グローバル	
	02123		パッシブ	三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2065（確定拠出年金）		年率0.396%	グローバル	
	02326		パッシブ	三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2070（確定拠出年金）		年率0.396%	グローバル	
	02494	資産配分固定（バランス）	パッシブ	eMAXIS Slimバランス（8資産均等型）	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.143%	グローバル	日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券（リート）を主要投資対象とします。各投資対象資産の指数を均等比率で組み合わせた合成ベンチマークに連動する投資成果をめざします。
	01830		パッシブ	三菱UFJ DC年金バランス（株式15）	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.154%	グローバル	日本を含む世界各国の株式・債券を主要投資対象とし、各投資対象資産の指数を組み合わせた合成ベンチマークに連動する投資成果をめざします。 株式15は、リスク資産である国内株式・先進国株式の配分を抑えたファンドです（株式投資割合：15%）。 株式40は、株式と債券をバランスよく配分し、債券等の資産配分をやや高めたファンドです（株式投資割合：40%）。 株式65は、リスク資産である国内株式・先進国株式の配分を高めたファンドです（株式投資割合：65%）。
	01831		パッシブ	三菱UFJ DC年金バランス（株式40）		年率0.154%	グローバル	
	01832		パッシブ	三菱UFJ DC年金バランス（株式65）		年率0.154%	グローバル	
自分で商品を選びたい方	02496	国内債券	パッシブ	eMAXIS Slim国内債券インデックス	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.132%	日本	日本の公社債を主要投資対象とします。「NOMURA-BPI総合」に連動する投資成果をめざします。
	02495	国内株式	パッシブ	eMAXIS Slim国内株式（TOPIX）	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.143%	日本	日本の株式を主要投資対象とし、「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」に連動する投資成果をめざします。
	02167		アクティブ	三菱UFJ DC厳選日本成長株オープン	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.836%	日本	日本の株式を実質的な主要投資対象とし、「企業の成長性」に着目して厳選した「35銘柄」に主に投資を行い、「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」を上回る投資成果をめざします。銘柄選定は、個別企業訪問等を通じ分析するボトム・アップ・アプローチにより行います。
	02501	海外債券	パッシブ	eMAXIS Slim先進国債券インデックス（除く日本）	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.154%	先進国	日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、「FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざします。
	02498	海外株式	パッシブ	eMAXIS Slim先進国株式インデックス（除く日本）	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.09889%	先進国	日本を除く先進国の株式を投資対象とし、「MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざします。
	02408		パッシブ	eMAXIS Slim全世界株式（オール・カントリー）	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.05775%	グローバル	日本を含む先進国および新興国の株式市場の値動きに連動する投資成果をめざします。MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
	02407		パッシブ	eMAXIS Slim米国株式（S&P500）	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.0814%	先進国	S&P500指数*1（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。主として対象インデックスに採用されている米国の株式に投資を行います。
	02502		パッシブ	eMAXIS NASDAQ100インデックス	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.2035%	先進国	米国の株式市場（NASDAQ100指数*2（配当込み、円換算ベース））の値動きに連動する投資成果をめざします。
	01956		アクティブ	＜DC＞ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント	年率1.0945%程度	グローバル	主として中長期的な値上がり益の獲得をめざし、長期の視点で成長が期待される世界各国の株式等（新興国を含む）に投資を行います。ベイリー・ギフォード社のグローバル株式運用戦略である「ロングターム・グローバル・グロース戦略（LTGG戦略）」を活用し、10年先を見据え、長期の視点で銘柄選定を行います。
	02500		パッシブ	eMAXIS Slim新興国株式インデックス	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.1518%	新興国	新興国の株式を実質的な主要投資対象とします。新興国の株式の指標である「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」と連動する投資成果をめざします。
	02499	リート・金	パッシブ	eMAXIS Slim国内リートインデックス	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.187%	日本	日本の不動産投資信託証券（リート）を主要投資対象とします。「東証REIT指数（配当込み）」に連動する投資成果をめざします。
	02497		パッシブ	eMAXIS Slim先進国リートインデックス（除く日本）	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.22%	先進国	日本を除く先進国の不動産投資信託証券（リート）を主要投資対象とします。「S&P先進国REITインデックス（除く日本、配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざします。
	01342		アクティブ	三菱UFJ純金ファンド	三菱UFJアセットマネジメント	年率0.99%程度	―	「純金上場信託（現物国内保管型）」（愛称：「金の果実」）を主要投資対象とします。日本の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。
	00002	預金	―	三菱UFJ銀行確定拠出年金専用1年定期預金	三菱UFJ銀行	―	日本	元本確保型　預入期間1年の自動継続定期預金です。長期に安定した運用が可能です。

（*1）S&P500指数®とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している株価指数で、米国の代表的な株価指数の1つです。市場規模、流動性、業種等を勘案して選ばれたニューヨーク証券取引所等に上場および登録されている500銘柄を時価総額で加重平均し指数化したものです。
（*2）NASDAQ100指数とは、米国のナスダック市場に上場している金融を除く銘柄のうち、流動性が高く時価総額の大きい約100社の株式で構成され、時価総額加重平均によって算出される株価指数です。　（*3）商品ごとにリスク・リターンが異なり、運用成果によって資産が増えることもあれば、減ることもあり、元本が保証されるものではありません。